

国内初の取り組み！

岩谷産業とセブン-イレブン・ジャパン

水素ステーションとセブン-イレブンの併設店舗を展開

～セブン-イレブン店舗における燃料電池の実証実験を開始～

岩谷産業株式会社（社長：野村 雅男、本社：大阪府中央区、以下：岩谷産業）と株式会社セブン-イレブン・ジャパン（社長：井阪 隆一、本社：東京都千代田区、以下：セブン-イレブン）は、店舗併設に関する包括合意書を締結し、2015年度、東京都と愛知県に併設店舗2店舗を順次オープンいたします。

岩谷産業は「水素をエネルギーとして活用する社会」の実現を目指す一環で水素ステーションの設置を推進しております。また、セブン-イレブンは地域に根差した「近くて便利」なお店づくりを推進しております。両社の将来性と日用性を融合し、「商品」「サービス」「クリーンエネルギー」を一ヶ所で提供することができる地域インフラとしての拠点づくりを目指してまいります。

また、セブン-イレブン店舗においては、純水素型燃料電池を活用した店舗の環境負荷低減について実証実験を行い、小売店舗における燃料電池活用の将来性について検証いたします。

岩谷産業は、これらの取り組みを通して、水素エネルギーが広く一般に浸透してゆくことを期待し、水素インフラの基盤確立に一層力を注いでまいります。

セブン-イレブンは、今後も商品やサービスの拡充だけでなく、エネルギー問題に対して、これからも“省エネ”“創エネ”“蓄エネ”による総合的な節電に積極的に取り組むことで、総電力使用量の削減とともに、環境にやさしい店舗づくりに取り組んでまいります。

【併設店舗イメージ】



以上